

幸田町
地域公共交通計画（仮称）
策定に向けた企業アンケート調査
調査結果

令和 5 年 1 0 月

幸 田 町

<目 次>

1. 調査概要	1
(1) 計画の目的	1
(2) 調査対象および調査方法	1
(3) アンケート質問項目	1
2. 調査結果	2
2.1 就業形態、就業時間について	2
2.2 従業員の通勤について	2
(1) 交通手段	2
(2) 居住地	3
2.3 マイカー通勤を減らしたいという意向について	3
2.4 マイカー通勤を減らすための取組みについて	4
(1) 現在行っている取組み	4
(2) 今後、検討の可能性がある取組み	4
2.5 マイカー通勤を抑制することで得られると思う効果	5
2.6 マイカー通勤を減らすための取組みの行政との共同の実施について	5
2.7 その他	5

1. 調査概要

(1) 計画の目的

幸田町民を対象に、アンケート及びヒアリング調査を実施し、交通行動、公共交通の利用状況及び公共交通の維持・確保のあり方、有料化などの都市交通施策に関するニーズを把握・整理する。

(2) 調査対象および調査方法

通勤手当や企業バス等を扱う部署の担当者の方に、アンケート調査への回答を依頼した。

項 目	内 容
調査対象	幸田町周辺に立地する企業 ・フタバ産業(株)幸田工場 ・ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ(株)幸田サイト ・(株)デンソー善明 ・(株)デンソー西尾 ・(株)デンソー幸田製作所
回答数	5 件
調査時期	令和 5 年 9 月

(3) アンケート質問項目

(1) 就業形態、就業時間

(2) 従業員の通勤について

(3) マイカー通勤を減らしたいという意向

(4) マイカー通勤を減らすための取組み

(5) マイカー通勤を抑制することで得られると思う効果

(6) マイカー通勤を減らすための取組みの行政との共同の実施について

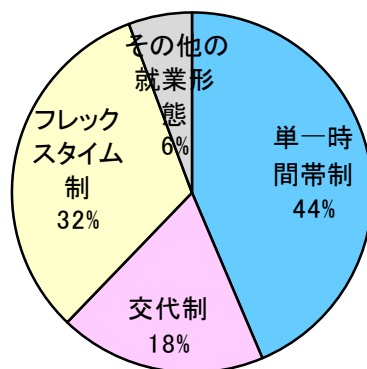
(7) その他

2. 調査結果

2.1 就業形態、就業時間について

[就業時間と従業員数を御記入ください。]

就業形態としては、「単一時間帯制」が最も多く約 4 割を占めている。次いで、「フレックスタイム制」が多く約 3 割を占めている。



n=5

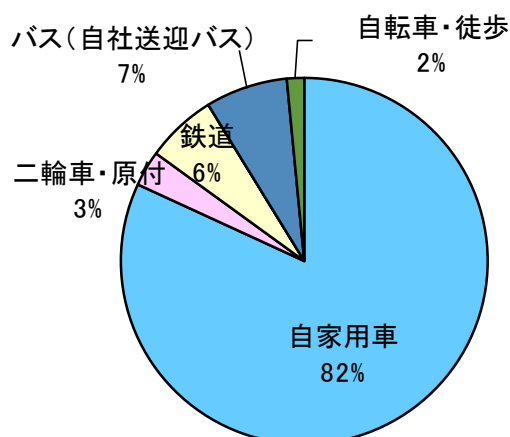
図 2-1 従業員形態

2.2 従業員の通勤について

[貴社の従業員（一般社員、派遣社員、パート・アルバイト等含む）の主な交通手段と通勤手当及びその従業員数を御記入ください。また、「自家用車」と「二輪車・原付」については、居住地別のおおよその人数も御記入ください。]

（1）交通手段

通勤時の交通手段については、自家用車が約 8 割を占めている。

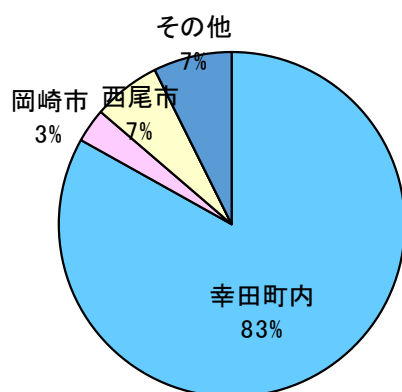


n=5

図 2-2 通勤時の交通手段

(2) 居住地

自家用車、二輪車、原付で通勤をしている従業員の約 8 割が幸田町内に在住している。



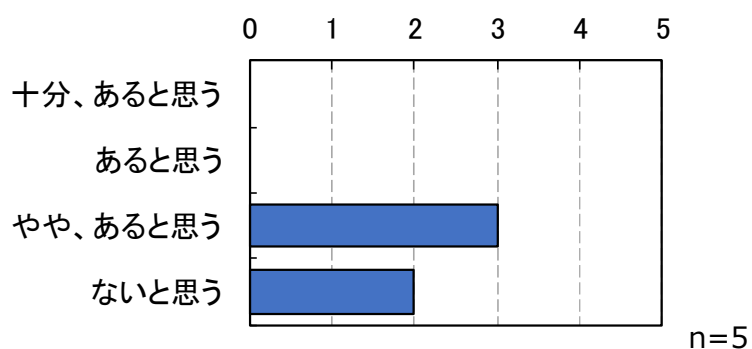
n=5

図 2-3 従業員の居住地（自家用車、二輪車、原付利用者のみ）

2.3 マイカー通勤を減らしたいという意向について

〔貴事業所には、マイカー通勤を減らしたいという意向はありますか？〕

マイカー通勤を減らしたいという意向については、3 社が「やや、あると思う」と回答している。



n=5

図 2-4 マイカー通勤を減らしたいという意向

2.4 マイカー通勤を減らすための取組みについて

[貴事業所では、マイカー通勤を減らすための取組みを行っていますか？]

(1) 現在行っている取組み

現在行っている取組みとしては、「従業員用通勤バスの導入・充実」「公共交通事業者への呼びかけ」を実施している状況。

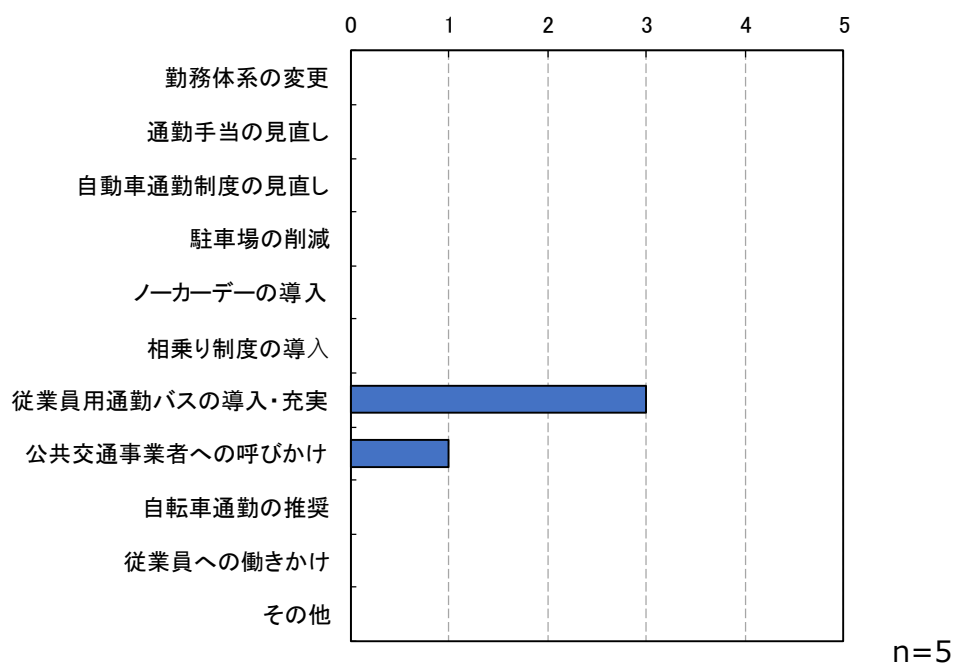


図 2-5 現在行っている取組み

(2) 今後、検討の可能性がある取組み

今後、検討の可能性がある取組みとして、2社が「従業員用通勤バスの導入・充実」と回答。

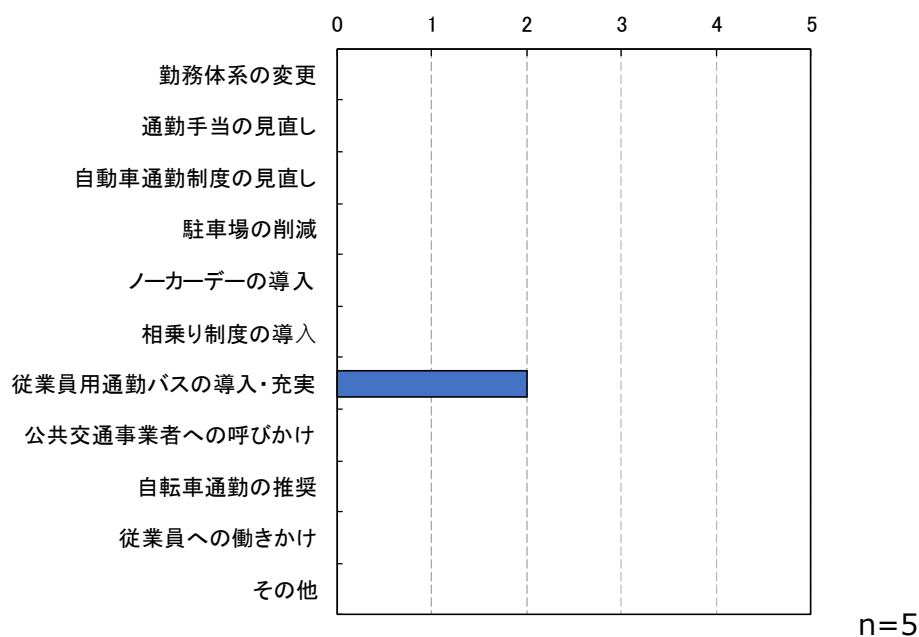


図 2-6 今後、検討の可能性がある取組み

2.5 マイカー通勤を抑制することで得られると思う効果

〔マイカー通勤を抑制することで得られると思う効果について教えてください。〕

マイカー通勤を抑制することで得られると思う効果として、「地球環境の改善」「従業員の交通事故減少」「渋滞の解消」を挙げる事業所が多い傾向。

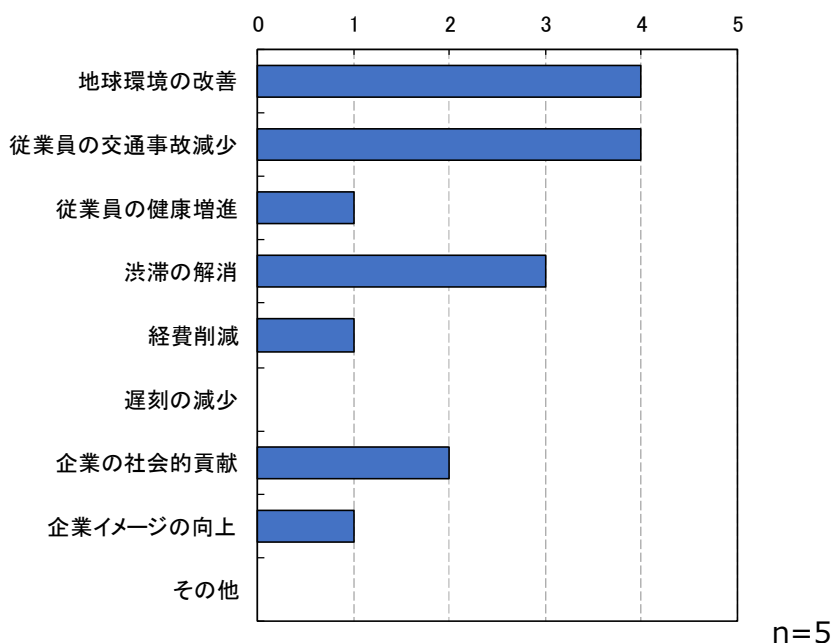


図 2-7 従業形態

2.6 マイカー通勤を減らすための取組みの行政との共同の実施について

〔行政と一緒に通勤交通対策に取り組む場合の協力の意向について教えてください。〕

マイカー通勤を減らすための取組みの行政との共同の実施については、5 社中 4 社が「分からない」と回答。

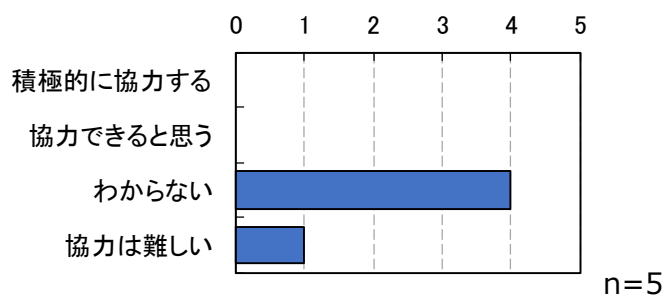


図 2-8 従業形態

2.7 その他

〔現在の支援、取組みに関する要望等ございましたら、御自由に御記入ください。〕

【参考：その他、自由記述の内容】

過去からこの取り組みについては各企業や行政が検討をしてきているが、結局コストと合わず断念してきている。朝の通勤時は出勤時間が決まっているので公共交通での対応は可能であると考えるが、帰りについては職場によって残業時間が違うため、残業時間終了時間に合わせた 30 分単位の公共交通を走らせてもらわないと、従業員は利用しないし、行政側もそれだけの本数を投入してはコストと効果が合わない。